

●手入れの方法 シクラメン

◆日光にできるだけ長く当てて下さい。

日光不足になりますと、徒長して花色も悪くなり、あとのつぼみも咲かなくなりますので、最低3時間はガラス越しの日光に当てること、また暖かい日中は屋外に出して直射日光に当てます。

シクラメンは寒さには強いので5℃以下にならないければ低温の室内の方がよく、寒風の当たらないベランダでもよく咲きます。

◆夜間は室内に入れて下さい。

夜間も暖房の強い部屋は避けて下さい。(10℃～15℃位) <注意> 直接温風は当てないこと。

◆高温に合わさないようにしましょう。

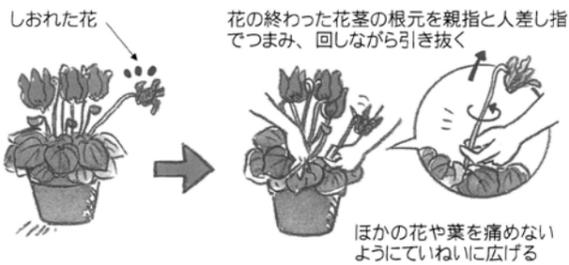
昼間の窓辺でも風通しをよくして温度が上がり過ぎないように注意して、日中は25℃以下に、又、夜間は15℃以下に保ちましょう。

◆灌水に注意することが大切です。

鉢土の表面が乾いたら、花や葉、中心の芽に水がかからないように注意して鉢の中に流し込むようにたっぷりを与えます。受皿に残った水はすてるようにします。水に漬かたままにすると根腐れを起こします。

底面給水式の鉢の場合は鉢底の水がなくなる前に足して下さい。

●シクラメンの花がら摘みのやり方



水やり



管理のコツ①

水やりのここがポイント



水やりの水には、あらかじめペットボトルに汲み置きした水を使用しましょう。15℃程度の水温が理想です。株の温度と同じ水温の水を与えることで、株へのショックを防げます。

万が一、水を切らして萎れてしまった場合は、花をひもで束ねて、葉を持ち上げるように鉢全体を新聞紙で包み、ガムテープでしっかりとめて、バケツの水に鉢ごと浸します。球根が水に浸からないように鉢土全体に十分給水させてから、通常の受け皿に水を入れるようにしましょう。この場合、葉組みをして株姿を整えます。

管理のコツ②

施肥の仕方



花が次々と咲くので、肥料を切らさないようにしましょう。開花中は春まで、7～10日に1回は液肥を与えます。

しかし、肥料の与えすぎには注意しましょう。購入時に置き肥がある場合は、1～2カ月は置き肥をしないようにします。液肥は、植物が好きなpHになっているため、7～10日に1回は鉢の大きさに応じた適正濃度で施します。普通鉢では水やり代わりに与えます。底面給水鉢では、受け皿に水の代わりに液肥を注ぎます。日光がよく当たる置き場では、藻類の発生に注意しましょう。

管理のコツ③

シクラメンの夏越し

来年再び花を楽しむには、開花の終わった株を、夏に休眠させる方法と休眠させない方法があります。シクラメンは高温多湿に弱いため、北海道や高冷地以外では、休眠させる方法が無難です。

●休眠させる夏越しとその後の植え替え

開花し続けていた株も、5月になると花が咲かなくなり、6～7月末には葉が黄色くなって生長が止まり、養分が葉から球根へ移行するので、急に球根が太ってきます。水やりは徐々に少なくしていきましょう。なるべく雨の当たらない日陰の軒下や木陰に移します。その後、葉が数枚残った状態か、ほとんどなくなった状態になり、休眠に入ります。雨が当たらない涼しい場所に移動させ、水やりを止めます。

9月中旬ごろから、球根の表面にモヤシ状の芽が出てきます。この芽が動き出したところが、本当の植え替えを行う適期です。鉢から抜いて、古い土をすべて落とし、古い根を3分の2くらい切り取ります。あらかじめ園芸培養土に緩効性肥料をまんべんなく混ぜておき、球根の上半分を地表に出し、深植えしすぎないように植え込みます。その後は、球根に水がかからないようにたっぷり水やりします。12月には葉数が増えて、こんもりとした株姿になり、株の中央の葉の付け根に白い蕾が出てきます。開花は1～2月ごろです。

●休眠させない夏越しとその後の植え替え

花が咲かなくなってからも、水やりと施肥を続けます。5～9月中旬までは、雨の当たらない軒下や建物の北側に移動し、日陰の風通しのよい所に置いて管理します。9月中旬に根鉢を崩さないように、ひと回り大きな鉢に植え替えます。

●手入れの方法 ポインセチア

◆冬越し：日当たりの良い室内で管理します。

◆水やり：土が適度にぬれている状態を保つ。

◆追肥：遅効性肥料を少な目にあたえる。

◆植付け：秋～冬に購入した株は花が終わるまで植え替えせずに春になったら根を半分程度崩し、新しい用土に植える。

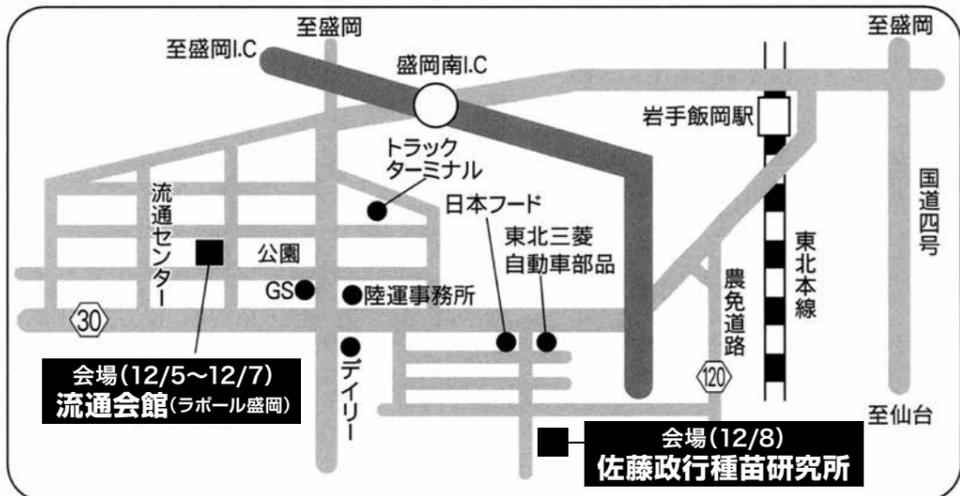
◎ポインセチアは日照時間が12時間以内にならないと葉が色づきませんので9月下旬から2ヶ月程度は夕方から翌朝までダンポールをかぶせたりする必要があります。

●手入れの方法 プリンセチア

<基本的に育て方はポインセチアと同じです。>

◆置き場所：室内の10℃～25℃の場所で日当たりの良い所が最も適しています。植物自体は5℃程度までは耐えますので10℃を多少下回っても大丈夫です。室外で楽しむ場合は最低気温に注意し、10℃を下回るようでしたら室内に入れてください。花が終わり、緑の新芽が伸びてきたら、屋外の日当たりの良い場所に移しましょう。夏期は昼間の直射日光を避け、午前中のみ日の当たるような風通りの良い場所で管理してください。最低気温が15℃を切るようになりましたら、室内に取り込んでください。プリンセチアは意外と繊細で、何かに擦れただけで傷ついて変色してしまうので、人が通る場所や、物が当たる場所には置かないようにしましょう。

◆注意：室内で管理する場合、クーラーや暖房の風に当たらないようにしてください。冷暖房の風で乾燥してプリンセチアがミイラになってしまいます。



株式会社 佐藤政行 種苗

本社 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南1-8-6

本社
〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南一丁目 8-6
☎ 019-638-5411 FAX 637-1543

水沢営業所
〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字仙人 22-3
☎ 0197-25-5011 FAX 25-5013

日詰営業所
〒028-3305 紫波郡紫波町日詰字郡山駅 132
☎ 019-672-4331 FAX 672-4332

山田出張所
〒028-1032 下閉伊郡山田町豊間根 5-260-8
☎ 0193-83-5055 FAX 83-5066

